

状況によって9月以降さらなる無償化に向けた追加支援はあるのか。

**答** 5月まで学校が臨時休校となり、授業日数が不足するため、夏季休業期間を短縮し、授業日数を確保することとなった。このため、臨時的に授業のある夏季の期間については、経済的負担の軽減のため、給食費を無償化することとした。

学校教育においては、給食費の無償化と併せ、様々な角度から教育の充実を図っている。様々な考え方があるが、給食費の無償化は、イレギュラーな取扱いとなる夏場1か月という判断をさせていただいた。

**問** 商品券というのは、それなりの所得を持っている市民が購入できるものである。所得が大幅に減少した市民が購入するのは厳しい。税の公正な利用や富の再配分という機能を損なっている。また、一番支援が必要となる店で商品券が利用されるかどうか不確実である。以上の点から商品券販売という施策はいかなものかと考えている。

プレミアム付き商品券というのは、考えやすい施策と思うが、担当者としては、これ以外の方策を考えていないのか。また、商品券を選択したのは何故か。

**答** 商業支援策として、様々な方策について検討したが、短期間にできるだけ大きな額の運転資金を供給することが事業者に対して効果的であるとの判断に至った。

また、商工会からもプレミアム付き商品券事業実施の要望書の提出もあったことから、即時性もあり、資金供給の面でも個々の補助事業よりも良い広い支援となるプレミアム付き商品券事業の実施を決定した。

**問** 学校内で感染者が出た場合、臨時休校中に消毒作業を行うことになるが、その費用は今回の補正予算に含まれているのか。

また、県は集団感染を防ぐために感染者と同じ施設にいた人などにもPCR検査の拡大を決めた。職員による消毒作業は難しい状況になる。予算を組むべきではないか。

**答** 学校職員や市の職員が中心となり、ストックしてある消毒用アルコールなどを使い消毒作業を行う予定のため、予算化はしていない。

学校の消毒範囲、検査対象の職員や作業に

かけられる日数の状況によっては、消毒作業の業務委託も考えられる。その際には、予算内で対応できるのか、予備費を充用するのか、状況をよく分析し、適切な対応を取っていきたい。

**問** 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発令前後に全国の小売店において米が品薄となったことは周知のとおりであり、7月時点でしらおか味彩センターの特別栽培米「彩のかがやき」は売切により終売となっている（「彩のきずな」・「ミルクワイーン」も同様に終売）。このような状況において、学校給食での100%白岡産特別栽培米の使用は維持できるのか。

**答** 米については、前年に公益財団法人埼玉県学校給食会から年間の給食用需要量調査が行われ、給食分として別に確保されている。

その米は、市内外のJAの倉庫に品質管理のうえ備蓄され、質・量ともに安心して使用できる状態であり、現時点では問題ない。

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用一覧

単位：千円

医療・福祉	
・民生委員・児童委員備品購入事業	315
・赤ちゃんスマイル子育て応援特別支援金支給事業	36,108
・市立保育所感染症拡大防止対策事業	1,136
・市立保育所利用自粛協力事業	4,106
・感染症拡大防止・健康維持支援事業	1,206
・介護予防事業拠点施設管理事業	205
・老人福祉センター管理運営事業	1,920
・介護サービス事業所等支援事業	4,300
・白岡市休日診療実施医療機関助成事業	1,610
・医療機関等支援事業	9,970
地域経済	
・交通事業者支援事業	3,300
・白岡市地域公共交通サービス構築事業	4,345
・地元応援プレミアム付商品券発行事業	74,949
教育	
・給食配膳室のエアコン設置事業	17,039
・小・中学校熱中症対策事業	2,181
・給食費無償化事業	17,449
・小・中学校屋内運動場トイレ洋式化改修事業	2,756
・修学旅行キャンセル料支援事業	2,182
・遠隔・オンライン学習の環境整備 GIGA スクール構想への支援事業	115,864
・第2次図書館パワーアップ事業	4,300
・公民館空調機工事	4,224
・白岡市 B&G 海洋センター自動券売機更新事業	1,850
防災対策	
・感染症対策用避難所用品購入事業	22,534
・感染症対策用情報伝達強化事業	27,280
感染症拡大防止	
・国勢調査インターネット回答奨励事業	5,325
・感染症対策広報事業	768
・投・開票所感染症拡大防止事業	4,698
・感染症対策備品購入事業	1,924
・感染症対策トイレ自動水洗化事業	1,726
・web会議環境整備事業	450